

第4回 “夢ブック” 読書感想文コンクール入賞作品

(感想文は、原文のまま掲載しています)

【『夢』 いっぱい賞 (最優秀賞)】

亀川小学校 伊澤 遼 (いざわ りょう) さん

「ミリーのすてきなぼうし」をよんで

いざわ りょう

ぼくが、このほんを、えらんだのは、ミリーのぼうしが、どんなぼうしかしりたかったからです。

でも、よんでびっくりしました。ミリーは、おかねもないのに、ぼうしやさんにいきました。みせのひとは、ミリーにすてきなぼうしをくれました。そうぞうのぼうしです。ぼくは、サッカーがうまくなりたいから、サッカーボールのぼうしがほしいとおもいました。

ミリーがそうぞうすると、ぼうしがかわっていきました。ぼくもそうぞうしました。おとうさんは、ゴルフのぼうし、おかあさんは、おはながいっぱいぼうし、おにいちゃんには、きょうりゅうのぼうしがいいとおもいました。そうぞうすると、わくわくします。ぼくが、サッカーのぼうしをかぶって、シュートをします。すてきなぼうしが、ほしいです。

【『夢』 ときどき賞 (優秀賞)】

大野小学校 沖田 亜晟 (おきた あせい) さん

まほうよりもすごいものをよんで

おきた あせい

ぼくがこのほんをえらんだのは、まほうよりもすごいものってなんだろうとおもったからです。このほんはジョジョさんというおばあさんのほなしです。おばあさんはスープをつくるのがだいすきでした。けれどあらしがきて、やさいをまもるためにあめにぬれてねつがでました。ぼくはおばあさんのためにゴン、ヤン、ランの3びきがやまへみずときのみをがんばってとりにいったところがいちばんよかったです。

ぼくもおかあさんがしんどいときに、おちゃをいれたりごはんをはこんだりしました。それはおかあさんがしんぱいでたすけてあげたいとおもったからです。だから、このときの3びきのきもちとぼくのきもちはいっしょだとおもいます。まほうよりもすごいものは、3びきのおばあさんへのやさしさだとおもいました。

日方小学校 野崎 百葉 (のざき ももか) さん

ぼくのジィちゃんはかっこいい！

のざき ももか

わたしは、ジィちゃんがすごいとおもいました。

これは、ぼくヒロシが、はじめはジィちゃんがたよりないとおもっていたけど、うんどうかいのリレーで、1ばんになりました。そして、ジィちゃんかっこいいとおもって、ジィちゃんのことをすきになったおほなしです。

わたしは、ゴツというつむじかぜのような、ロケットのようなジィちゃんのスタートが、すごくかっこいいとおもいました。

3にんめをぬいたとき、ジィちゃんがちょっとわらっているから、ほんきでははしってなかったとおもいます。ほんきではしっていたら、もっとはやかったとおもいます。ジィちゃんのぜんりよくのはしりもみてみたかったとおもいました。

はしるまえのジィちゃんをみてわらっていたみんながびっくりして、そしてジィちゃんのおうえんをはじめました。わたしもこのばしょにいたら、ヒロシのジィちゃんがんばれーとおうえんしたいです。

ハヤトくんのおとうさんは、りくじょうきょうぎのせんしゅで、きっと1ばんになるとおもっていたはずですが、でも、ジィちゃんは、オリンピックのこうほせんしゅだったから、まけませんでした。

ハヤトくんのおとうさんは、やばいぬかれるというかおをしています。ジィちゃんは、かつぞというきもちのかおをしています。ひかるあせのキラキラがかっこいいです。

みんなにわらわれて、わたしはジィちゃんがかわいそうで、モヤモヤしていたけど、ジィちゃんのむねのウサギさんがゴールテープをきったとき、わたしはスカッとしました。としをとっていてもはしれるなんて、すごくすごくかっこいいとおもいました。

【『夢』きらきら賞（奨励賞）】

中野上小学校 中本 空那（なかもと そな）さん

ぼくのジィちゃんをよんで

なかもと そな

ヒロシくんのジィちゃんは、なんて、はしるのがはやいのだろう。これが、よみおえたときに、さいしょにおもったことです。まさか、うんどうかいの、クラスたいこうリレーでハヤトくんのおとうさんをぬかして、いちばんになるとは、おもっていませんでした。

ヒロシくんは、ジィちゃんがびりになるとおもっていたけど、かんがえてみると、そのきもちがよくわかりました。ぼくにもおじいちゃんがいる、おすもうたいけつで、ぼくがかつとおもっていたのに、おじいちゃんのほうがすごくつよかったことがあるからです。

ヒロシくんもぼくも、おなじようにおじいちゃんのことをおもっていたんだとおもいました。

さいごにヒロシくんが、ぼくのジィちゃんさいこうにかっこよかったといっていました。ぼくも、このほんをよんでおじいちゃんとたくさんはなしをして、いろんなことをおしえてほしいなとおもいました。

巽小学校 玉置 優望（たまき ゆの）さん

ぼくのジィちゃんをよんで

たまき ゆの

わたしは、このほんをよんでおじいちゃんはとってもはやくはしってかっこいいとおもいました。

どうしてこのおじいちゃんがはやくてかっこいいかというと、いっしょうけんめいれんしゅうしてどりよくしたからだとおもいます。

わたしは、けいさんかあどがにがてです。あたまをつかたりするのがむずかしいからです。それと、あいさつもにがてです。こえをだすのがはずかしいきもちになります。

このおじいちゃんのようにいっしょうけんめいれんしゅうしてどりよくして、けいさんかあどをてをつかわずにすらすらいえるようになりたい。あいさつは、はずかしがらずにおおきいこえでいえるようになりたい。そしておじいちゃんのように1ばんをとれるようになりたいです。